資産運用アンケート

【ご記入にあたって】

今回よりGoogle Formのアンケート形式となりますが、保有資産の種類・金額、自由記述欄の記入を含め、何卒ご協力お願いいたします。

特に、保有資産の種類・金額については、公益法人の資産運用の現状ならびに2016年の前回調査からの経年変化、将来の方向性を分析するために非常に重要なものです。

なお、本アンケートの集計・分析結果は公益法人協会より公表し、皆さまの今後の資産運用の検討にお役に立てていただけるものと考えています。

ただし、ウェブアンケートの機能的な制限から金額内訳を「その他」記入欄にご記入いただくことになります。記入にあたりまして特にご留意のほどお願い申し上げます。

＊必須回答項目

法人名をご記入ください。＊

記入欄：

回答者のメールアドレス＊

不明箇所の確認を目的としたお問合せ、重複回答を防ぐためにご協力ください。

資産運用アンケートの結果概要は、本欄にご記入下さったメールアドレスにお送りいたします。

記入欄：

**１．資産運用の現状**

質問１　【収入の源泉】

金融資産運用収入以外の収入についてお聞きします。最も金額の大きい収入を1行目に、2番目に大きい収入を2行目にチェックしてください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 会費収入 | 親会社・関連会社等からの寄附 | その他からの寄附 | 事業収入(補助金・助成金を除く) | 補助金(国・地方公共団体等から) | 助成金(他財団等から) | 運用収入以外は無い |
| 最も大きい収入 |  |  |  |  |  |  |  |
| 2番目に大きい収入 |  |  |  |  |  |  |  |

質問２　【金融資産運用収入の占める割合】

総収入に占める金融資産運用収入の割合についてお聞きします。

□ 10％未満

□ 10％～30％未満

□ 30％～50％未満

□ 50％～70％未満

□ 70％～90％未満

□ 90％以上

質問３　【金融資産の総額】

直近決算時点の数字で、預貯金・有価証券等の金融資産(＊不動産／設備・美術品等の有形固定資産を除く)は合計いくら保有していますか？（百万円位以下切捨て）

記入欄：

質問４　【金融資産の構成】＊

金融資産として保有している以下の具体的な商品について、実際に運用中のものにチェックを入れ、それぞれの運用金額の概算を百万円単位でご記入ください。（複数回答可）

＜流動性資産＞

□ 預貯金：

□ 金銭信託等その他の短期流動性資産：

□ 金銭信託等その他の短期流動性資産：

＜公債、社債＞

□ 公債（国債）：

□ 公債（地方債・政府保証債）：

□ 社債（普通社債）：

□ 社債（劣後債）：

＜仕組債・仕組預金＞

□ 為替変動で利息が変化するもの：

□ 金利変動で利息が変化するもの：

□ 株価変動で利息が変化するもの：

□ その他の要因で利息が変化するもの：

＜外貨・債券、不動産＞

□ 外貨預金（利息・元本とも為替で変動）：

□ 外国債券－個別銘柄：

□ 不動産－個別銘柄（不動産投資信託－REIT）：

＜株式（個別銘柄）＞

□ 母体企業の株式：

□ 運用目的の株式：

＜ファンド＞※ファンド＝投資信託、ETF、その他信託を利用して分散投資を行う金融商品の総称。

□ 主な投資対象が国内株式：

□ 主な投資対象が外国株式：

□ 主な投資対象が外貨建て債券：

□ 主な投資対象が為替ヘッジ付き外貨建て債券：

□ 主な投資対象が国内債券：

□ 主な投資対象が国内・国外REIT：

□ ファンドラップ・SMA・バランスファンド等、複数種類の投資対象を含むもの：

□ その他ファンド（具体的な投資対象を以下の「その他」記入欄にご記入ください）：

＜その他の金融資産（具体的にご記入ください）＞

実際に運用中の上記以外の金融資産について、名称と運用金額の概算を百万円単位で教えて下さい。

記入欄：

質問５　貴法人のニーズに沿った運用手段があれば、従来と異なる 運用商品を検討する可能性はありますか。「はい」または「いいえ」でお答えください。また、どのような運用商品が貴法人にとってのニーズに沿うか「その他」に自由にご記入ください。

□ はい

□ いいえ

□ その他：

質問6-1　【直近の運用利回り実績】

直近決算時点の金融資産の運用利回り実績の水準についてお聞きします。（＊金融資産運用収入合計÷金融資産取得価額合計で、元本の評価損益は加味しない実現利回りでお答えください）

□ 0.5%未満

□ 0.5%以上～1.0%未満

□ 1.0%以上～2.0%未満

□ 2.0%以上～3.0%未満

□ 3.0%以上～4.0%未満

□ 4.0%以上

質問6-2　よろしければ、上記回答の運用利回りの水準について、ご意見、その他お感じのことを詳しく記述してください。

記入欄：

質問7-1　【運用内容の決まり方と元となる判断材料の現状（１）】

貴法人での運用内容の決まり方、元となる判断材料の現状として、もっとも当てはまるものはどれですか。

□ 投資顧問会社又は信託銀行での一任勘定による運用サービス（SMA、ファンドラップはこれに含めない）をもとに判断

□ 投資顧問会社又はコンサルティング会社の助言を元に判断

□ 証券会社・信託銀行などからの提案を元に判断（法人内部に資産運用の熟練者がいる）

□ 証券会社・信託銀行などからの提案を元に判断（法人内部に資産運用の熟練者はいない）

□ 上記以外の外部専門家の助言を元に判断（金融機関OB/OG、企業の財務経験者等）

□ その他：

質問7-2　よろしければ、上記回答の判断材料について、 ご意見、その他お感じのことを詳しく記述してください。

記入欄：

質問8-1　【運用内容の決まり方と元となる判断材料（２）】

これまでに、行政から運用内容について何らかの指導を受けたことはありますか。

□ ある

□ ない

質問 8-2　 「ある」と回答された方は、よろしければ、詳しく記述してください。

記入欄：

**２．運用管理体制・手続き**

質問９　【運用規程・規則】

運用規程・規則はありますか？どんなことを定めていますか？（複数回答可）

□ 運用規程、規則に相当する文章はない

□ 運用責任者（あるいは運用責任者と実務担当者の所在）

□ 運用責任者の職務（あるいは運用責任者と実務担当者の職務）

□ 理事会などへの報告義務

□ 運用可能な資産あるいは金融商品

□ 取得あるいは保有可能な債券格付け

□ 運用比率制限（例えば仕組み債20％未満、社債30％未満など特定資産の制限を意図）

□ リスク管理・運用モニター（格付け、価格変動、資産構成比率などのチェック）

□ ロスカット・ルール（例えば20％以上値下がりの場合は売却する等）

□ 基本ポートフォリオ・基本資産配分比率（上記「取得可能な債券格付け」と異なる。全体のバランスを規定）

□ 目標とする運用収益、利回りなど

□ 許容する価格変動の大きさ、リスクなど

□ その他:

質問10-1 【基本方針書、ガイドライン、運用計画書等】

上記の運用規程・規則以外に、基本方針書、ガイドライン、運用計画書等を作成していますか？どんなことを記載していますか？（複数回答可）

□ 運用規程・規則以外に、基本方針書、ガイドライン、運用計画書等は作成していない

□ 運用責任者（あるいは運用責任者と実務担当者の所在）

□ 理事会などへの報告義務

□ 運用可能な資産あるいは金融商品

□ 取得あるいは保有可能な債券格付け

□ 運用比率制限（例えば仕組み債20％未満、社債30％未満など特定資産の制限を意図）

□ リスク管理・運用モニター（例えば20％以上値下がりの場合は売却する等）

□ 基本ポートフォリオ・基本資産配分比率（上記「取得可能な債券格付け」と異なる。全体のバランスを規定）

□ 目標とする運用収益、利回りなど

□ 許容する価格変動の大きさ、リスクなど

□ その他:

質問 10-2　よろしければ、基本方針書、運用計画書等を別途作成される理由を教えて下さい。

記入欄：

質問11　【資産運用の責任者】

日常的な運用業務の責任者となっている方のお役職名をご記入ください。

記入欄：

質問12　【資産運用のスタッフ】

質問11の責任者のほかに、運用の情報収集・執行等をサポートする事務局スタッフはいますか？また、何名いますか？

□ いない（質問11にご記入いただいた責任者が全て行う）

□ いる（下記「その他」にスタッフの人数をご記入ください）

事務局スタッフ数：

質問13　【運用委員会等】

複数のメンバーで運用を審査する運用委員会等の機関についてお聞きします。

□ 運用委員会は存在しない

□ 存在する（メンバーは内部役職員のみで構成）

□ 存在する（メンバーは外部有識者を交えて構成）

□ 存在する（メンバーは外部有識者のみで構成）

質問14 【理事会等への資産運用に関する付議と報告】

理事会等に対する資産運用に関する付議と報告の状況についてお聞きします。

□ 運用状況のみを報告

□ 基本方針書、ガイドライン、運用計画書等を付議あるいは報告

□ 基本方針書、ガイドライン、運用計画書等を付議あるいは報告すると共に、運用状況も報告

□ 資産運用に関する付議あるいは報告、運用状況の報告、いずれもしていない

**３．今後の資産運用に関連する対応**

質問15-1 【目標とする運用利回りの水準】

今後の法人事業遂行／運営を考えた場合に、十分な運用利回りの水準はどれぐらいですか？（＊金融資産運用収入合計÷金融資産取得価額合計で、元本の評価損益は加味しない実現利回りでお答えください）

□ 0.5%未満

□ 0.5%以上～1.0%未満

□ 1.0%以上～2.0%未満

□ 2.0%以上～3.0%未満

□ 3.0%以上～4.0%未満

□ 4.0%以上

□ その他:

質問 15-2　よろしければ、上記の回答について、自由に記述してください。

記入欄：

資料16-1 【許容可能と思われる評価損】

質問15の目標利回りを達成するためには、満期保有目的債券を含む、金融資産の評価損（値下がり）はマイナス何％ぐらいまでなら許容されると思われますか？（主観的な意見でも構いません）

□ マイナス5%ぐらいまで

□ マイナス10%ぐらいまで

□ マイナス15%ぐらいまで

□ マイナス20％ぐらいまで

□ それ以上

質問16-2　よろしければ、上記回答について、自由に記述してください。

記入欄：

質問17-1 【運用収益の予算と実績の差、それに関する対応】

これまでに、予算で見込んだ運用収益が得られなかった場合、どのような対応を講じたことがありますか？（複数回答可）

□ 予算で見込んだ運用収益が得られなかったことはない

□ 予備の流動資産など（基本財産、特定資産以外の資金）を急きょ取り崩した

□ 事業支出以外の管理費用を削減した

□ 基本財産、特定財産を急きょ取り崩した

□ 事業規模を縮小した

□ その他:

質問17-2　よろしければ、上記の回答について、自由に記述してください。

記入欄：

質問18-1【現状運用可能な金融商品】

現行の規程・規則等において運用可能となっている金融商品をご選択ください。保有の有無にかかわらず、運用可能となっているものものすべてをご選択ください。

※ファンド＝投資信託、ETF、その他信託を利用して分散投資を行う金融商品の総称。

□ 現在、運用可能な金融商品

□ 短期資産（預貯金、金銭信託など）

□ 外貨建て短期資産（外貨預金、外貨MMFなど）

□ 公債（国債・財投債・地方債など）

□ 普通社債

□ 劣後債

□ 仕組債

□ 仕組預金

□ 外貨建て債券（＊個別銘柄）

□ 不動産（REIT）（＊個別銘柄）

□ 株式（＊個別銘柄）（運用目的の株式　母体・関係企業株式除く）

□ ファンド①（主な投資対象が国内株式）

□ ファンド②（主な投資対象が外国株式）

□ ファンド③（主な投資対象が国内債券）

□ ファンド④（主な投資対象が外貨建て債券）

□ ファンド⑤（主な投資対象が国内REITあるいは海外REIT）

□ ファンド⑥（主な投資対象が為替ヘッジした外債）

□ ファンド⑦（その他の投資対象）

□ ヘッジファンド、その他オルタナティブ投資

□ その他の金融資産

質問18-2【今後の運用割合】

公益法人の資産運用における、以下の各金融資産の保有割合の見通しについて、最も当てはまるものを一つずつご選択ください。ご回答者様の主観で構いません。

貴法人での保有がない・できない金融商品でも、一般論として公益法人の資産運用において増えていくと考える場合には「増えていくと思う」をお選びください。また、減っていくと考える場合には「減っていくと思う」をお選びください。

※ファンド＝投資信託、ETF、その他信託を利用して分散投資を行う金融商品の総称。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 増えていくと思う | 変わらないと思う | 減っていくと思う | 判らない |
| 短期資産（預貯金、金銭信託など） |  |  |  |  |
| 外貨建て短期資産（外貨預金、外貨MMFなど） |  |  |  |  |
| 公債（国債・財投債・地方債など） |  |  |  |  |
| 普通社債 |  |  |  |  |
| 劣後債 |  |  |  |  |
| 仕組債 |  |  |  |  |
| 仕組預金 |  |  |  |  |
| 外貨建て債券（＊個別銘柄） |  |  |  |  |
| 不動産（REIT）（＊個別銘柄） |  |  |  |  |
| 株式（\*個別銘柄）（運用目的の株式　母体・関係企業株式除く） |  |  |  |  |
| ファンド①（主な投資対象が国内株式） |  |  |  |  |
| ファンド②（主な投資対象が外国株式） |  |  |  |  |
| ファンド③（主な投資対象が国内債券） |  |  |  |  |
| ファンド④（主な投資対象が外貨建て債券） |  |  |  |  |
| ファンド⑤（主な投資対象が国内REITあるいは海外REIT） |  |  |  |  |
| ファンド⑥（主な投資対象が為替ヘッジした外債） |  |  |  |  |
| ファンド⑦（その他の投資対象） |  |  |  |  |
| ヘッジファンド、その他オルタナティブ投資 |  |  |  |  |
| その他の金融資産 |  |  |  |  |

質問18-3　「ファンド⑦（その他の投資対象）」および「その他の金融資産」を選択された場合、具体的にご記入ください。また、よろしければ、上記（質問18-1）回答について、自由に記述してください。

記入欄：

質問19-1　【今後の運用環境について】

今後5年程度の国内の運用環境について、どのような見通しをお持ちですか？【金利】【金利】【為替】それぞれ1つずつ、該当すると思われるものにチェックしてください。

【金利】

□ 金利は現状程度

□ 金利は下がる傾向

□ 金利は上がる傾向

【金利】

□ 現状程度

□ デフレ傾向

□ インフレ傾向

【為替】

□ 現状程度

□ 円高傾向

□ 円安傾向

質問19-2　よろしければ、上記回答について、自由に記述してください。

記入欄：

**４．今後の見通し、課題**

質問20-1　今後の法人の事業規模の見通しについて該当すると思われる箇所にチェックしてください。

□ 事業の規模は順調に拡大すると見込んでいる

□ 事業の規模は横ばい、どちらかと言えば拡大傾向であると見込んでいる

□ 事業の規模は横ばい、どちらかと言えば縮小傾向であると見込んでいる

□ 事業規模は縮小していくと見込んでいる

質問20-2　よろしければ、上記の回答について、詳しく記述してください。

記入欄：

質問21-1　これまでのご回答を踏まえて、今後の資産運用に関連する検討課題をどうお考えですか。（複数回答可）

□ ある程度リスク商品への投資も考えたい

□ 国債等の債券運用偏重のリスクもそろそろ念頭に置きたい

□ 基本財産等の内部資金の取り崩しを考慮したい

□ 事業規模の縮小を検討したい

□ 内部の運用体制を再構築したい

□ その他:

質問21-2　よろしければ、上記の回答について、詳しく記述してください。

記入欄：

質問22　法人の資産運用に関して公益法人協会に望むことはありますか？（複数回答可）

□ 資産運用、運用管理体制等に関する講習会をもっと開催してほしい

□ 資産運用、運用管理体制等に関する相談に乗ってほしい

□ 資産運用、運用管理体制等に関する専門家（金融機関OB／OG等）を紹介してほしい

□ 資産運用、運用管理体制等に関する専門家（外部コンサル会社）を紹介してほしい

□ 資産運用、運用管理体制等に関する記事を「公益法人」誌にもっと掲載してほしい

□ 現状でよい

□ その他: